

公共事業事前評価箇所調査(令和元年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班 災害砂防班

事業名	渡嘉敷(3)(4)地区急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	自然災害防止事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	島尻郡渡嘉敷村渡嘉敷西原地内				
事業の諸元	急傾斜地崩壊危険区域 A=約2.15ha 連続繊維補強土工法、杭式崩壊土砂防護柵、補強土防護擁壁、排水工 各一式				
事業の概要	<p>当該地区は、島尻郡渡嘉敷村渡嘉敷西原地内に位置する東向き斜面で、がけ高約22.6m、勾配約42.7度の急傾斜地であり、保全対象はがけの下方に、保全人家28戸である。</p> <p>斜面の下部には多数の角礫状の落石や崩積土と判断される土砂が確認され、また一部斜面では粘板岩の急崖が形成され、その上部は樹木が不安定な状態でオーバーハングしており、今後もこれらの落石や樹木の倒壊が発生する恐れがあることから、急傾斜地崩壊対策事業を実施するものである。</p>				
事業の必要性・効果等	<p><必要性> 斜面の下部には多数の落石や崩土が確認され、粘板岩の急崖では、急崖上部がオーバーハング土砂および樹木が不安定な状態となっている。事業の実施により、将来も発生しうると考えられるこれらの災害から周辺住民の生命・財産の保護が図られる。</p> <p><効果等> 人家28戸他、事務所・民宿等の住民や旅行者の生命・財産を守ることができる。</p>				
事業期間	事業採択	令和元年度	完了(予定)	令和6年度	
全体事業費	2.76(億円)	補助・単独の別	単独	補助率	—
費用対効果	B/C = 2.08	総便益:B 5.17(億円) ①被害軽減便益 5.17億円	総費用:C 2.49(億円) ①事業費 2.49億円	基準年	平成29年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画において「2心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」の中で「(4)社会リスクセーフティネットの確立」として、土砂災害の防災対策への取り組みが位置づけられている。</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画において、「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」として「土砂災害対策 急傾斜地崩壊対策事業」が位置づけられている。</p>				
環境への配慮	急傾斜地の現況の樹冠状況を大きく変化させないように、斜面は連続繊維補強土工法で行い、粘板岩の急崖露頭部は土砂防護柵工や防護擁壁工の待受け工法で対処する。				
関係する地方公共団体等の意見	平成29年1月に渡嘉敷村長から斜面对策に対する要望書が県に提出されている。				
概要図(位置図)					